

令和3年度 第4回
運営推進会議
介護・医療連携推進会議

議事録

看護小規模多機能施設 のぞみ
グループホーム のぞみ
小規模多機能施設 めぐみ
グループホーム めぐみ
定期巡回 ゆい 港北

日時：令和4年3月23日（水）15時30分～17時00分
場所：オンライン開催

1. 開会の挨拶

新規ご出席者ご紹介

2. 看護小規模多機能施設 のぞみ

<活動状況報告> 添付資料参照

～意見～

《家族より》

(活動状況報告に)楽しそうな写真がたくさんあって見ただけで心が和んだ。
大変な中、感染症対策を行ってくださり本当に感謝している。

《看護師より》

感染症対策の資料に掲載されているビニール袋に入ったマスクは「N-95」か？
マスクはビニール袋ではなく紙袋で保存したほうが良いと感染症専門の看護師から聞いて
いる。「N-95」は高くて手に入らないので二重にして繰り返し使う場合は紙袋に保管すれば
一週間は使用できる。
⇒「N-95」はなかなか手に入らないので感染者が出た時のためにストックしてある。

3. グループホーム のぞみ

<活動状況報告> 添付資料参照

～意見～

《家族より》

コロナで施設に行く機会がなくなり職員の顔がわからなくなってきた。
⇒2か月に一回のお便りの中にスタッフの写真を入れるようにしたいと思う。

4. 小規模多機能施設 めぐみ

<活動状況報告> 添付資料参照

～意見～

特になし

5. グループホーム めぐみ

<活動状況報告> 添付資料参照

～意見～

《家族より》
オンライン面会が開始されたので利用したい。

6. 定期巡回 ゆい 港北

<活動状況報告> 添付資料参照

<外部評価総括> 添付資料参照

～外部評価の意見を受けてからの改善計画～

項目番号①：サービス特徴を踏まえた理念の明確化：

事業所の独自理念が定められていないが、今年度策定した企業理念に沿った行動指針を掲示して事業所内で確認できるようにしている。今後、事業所独自の理念も取り決め、職員の意識向上に努めていけるようにしたいと考えている。

項目番号③：専門技術の向上のための取組み：

定期的な職員育成のための仕組みは構築できていない。
e-ラーニング「メディパスアカデミー」を利用し、4月はコロナ感染対策の研修を職員全員が受講する。e-ラーニングについて「外部関係者も受講機会を与えてほしい」とのコメントをいただいたが、法人内での受講システムとなっているため、今度検討させていただき個別に対応させていただきたい。

項目番号⑤：介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保：

個人情報の取り扱いに配慮した上でクラウドサービス「カナミック」を利用し、情報の共有や定期的な申し送りを周知徹底している。デジタル化の可能性については、まだ導入をしたばかりのため、今後はデジタルの有効的な使い方を模索していきたいと考えている。

項目番号⑩：利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供：

急遽サービスが入り、サービスが先行してしまうことが稀にあるが、初回サービスや契約の際に説明を行うようにしている。

項目番号⑳：介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信

社内では会議の議事録が閲覧できるようになっているが、ホームページでの掲載についても具体的に進めている。準備ができ次第、アップしていきたい。

項目番号㉓：安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等

コロナの影響で機会がなく、関係者とのネットワーク活用法については今後の課題として検討していく。いい案があればご意見をいただきたいと思います。

～意見～

《訪問看護ステーション A より》

外部評価は「できている」に「○」が少ない印象だが、もう少し「できている」にしてもいいと思う。連携についてはノートを見たり電話で確認したりしているので不足している感じはない。逆にヘルパーが看護師に聞きにくかったりしていないか。

⇒スタッフ間では毎日サービスに入る特性上、利用者の身体状況や取り巻く環境についてはタイムリーな情報共有ができています。ヘルパーから訪問看護ステーションに問い合わせることはないが、管理者に報告が集約されるようになっているので、社内で意見交換をし必要であれば訪問看護ステーションに連絡を取るようになっています。良好な関係性が築けていると思う。

《訪問看護ステーション B より》
毎月、訪問看護から要望を出しているが回答がないのが残念。
経済的に余裕のある方は自費を利用して環境整備をしていただいてもいいと思う。
⇒毎月いただくモニタリング・アセスメントシートに対する回答は不十分な点があるので
今後気を付けて対応していきたい。

《包括 A より》
実際、コロナの影響はなかったのか？
⇒コロナ禍でこの半年、職員 1 名の陽性者が出た。感染対策をとりながらのサービスは精神的に負担が大きかった。同業他事業所が撤退した影響でサービスの依頼が多く、職員も体力的、精神的にきつかったと思うが、今はだいぶ落ち着いてきている。

7. 総括

《包括 B より》
いつも改善に取り組んでいる印象があってとても信頼できる。
むしろ、包括が迷惑をかけていることがないか心配している。

《薬局より》
感染症対策の資料に掲載されている「手洗いのイラスト」について、利き手の手洗いが不十分になっている事が多いので意識して手洗いしてもらおうといい。

《区役所より》
コロナ禍でも感染対策をしながらレクリエーションなどを行っていることがうかがえる。
区役所からも利用にあたって色々と相談させてもらいたい。

《医師より》
最近、受け持ちの患者が特定施設に入所したため訪問診療に行く機会があったが、職員との連携がうまくいかない事があり、患者の立場に立っていないことをすごく実感した。
ゆいとの関係は非常に融通が利いてうまく連携がとれていることをつくづく感じて見直した。
ゆいの訪問看護ステーションもよく動いてくれている。ゆいとは顔が見える関係性ができているのでやりとりがスムーズにできている。患者のためにはこういう関係性が重要だとつくづく感じた。

定期巡回の事業所撤退の話があったが、国は 2025 年に地域包括ケアシステムを完成させると言っているが、これの肝は「定期巡回」だと思っている。「ほとんど在宅、時々入院」という国のキャッチフレーズがあるようにこれが地域包括ケアシステムといわれている。在宅で支えるには家族に介護力がないので、定期巡回で回ってもらわないととても在宅でケアできない。定期巡回が撤退することがないように、報酬を見直さないといけないと思っている。頑張ってもらってほしい。

8. 閉会の挨拶

【令和 4 年度 開催日(予定)】

<運営推進会議>
令和 4 年 6 月 22 日 (水) 15 時 30 分～(予定) (開催方法：未定)

<運営推進会議> <介護・医療連携推進会議>
令和 4 年 9 月 28 日 (水) 15 時 30 分～(予定) (開催方法：未定)

<運営推進会議>
令和 4 年 12 月 21 日 (水) 15 時 30 分～(予定) (開催方法：未定)

<運営推進会議> <介護・医療連携推進会議>
令和 5 年 3 月 22 日 (水) 15 時 30 分～(予定) (開催方法：未定)